

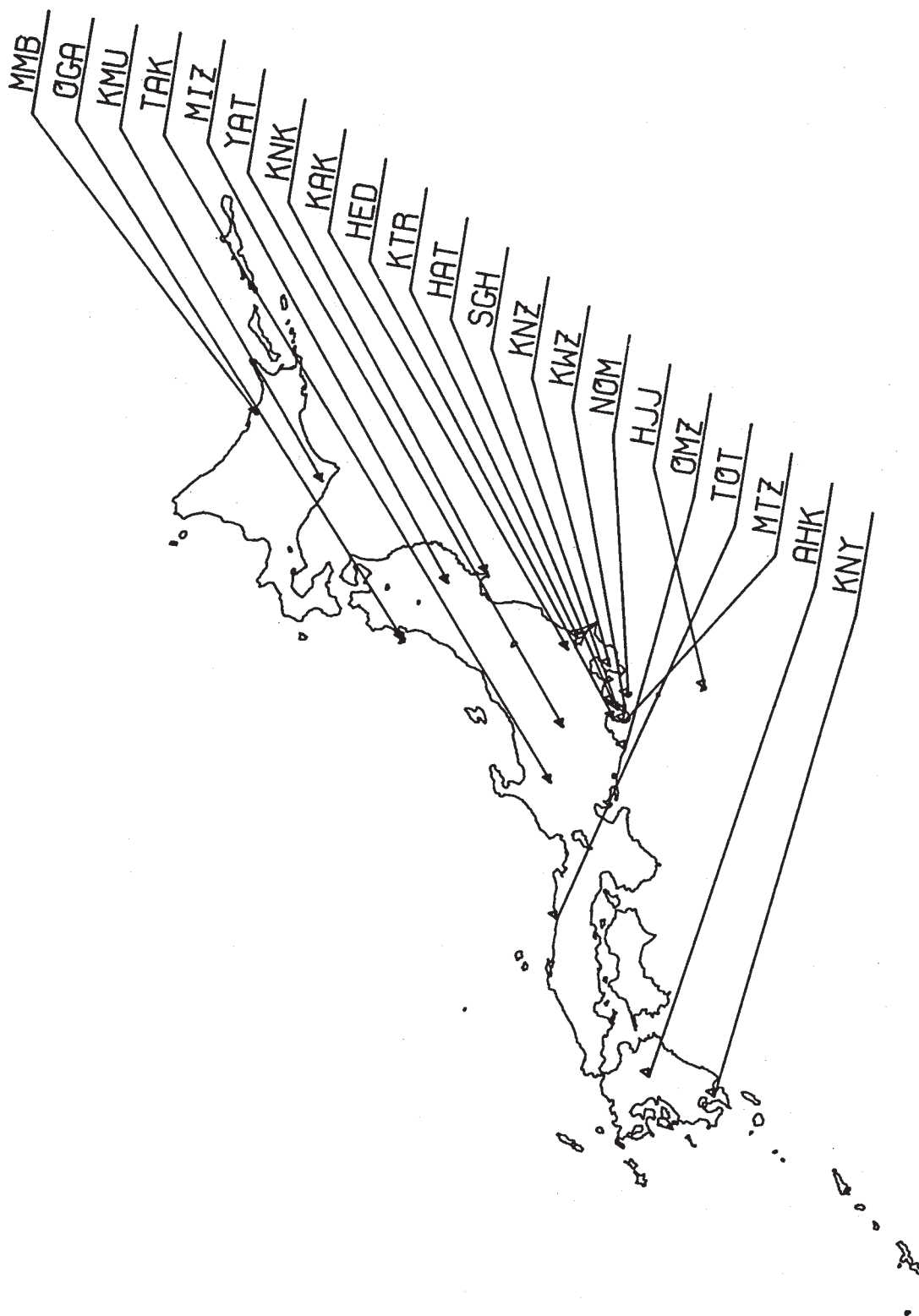
7 - 6 地震予知研究計画に基づく地磁気永年変化精密観測 1977年1月～1984年3月

**Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of
Earthquake Prediction Research, January, 1977 - March, 1984**

地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

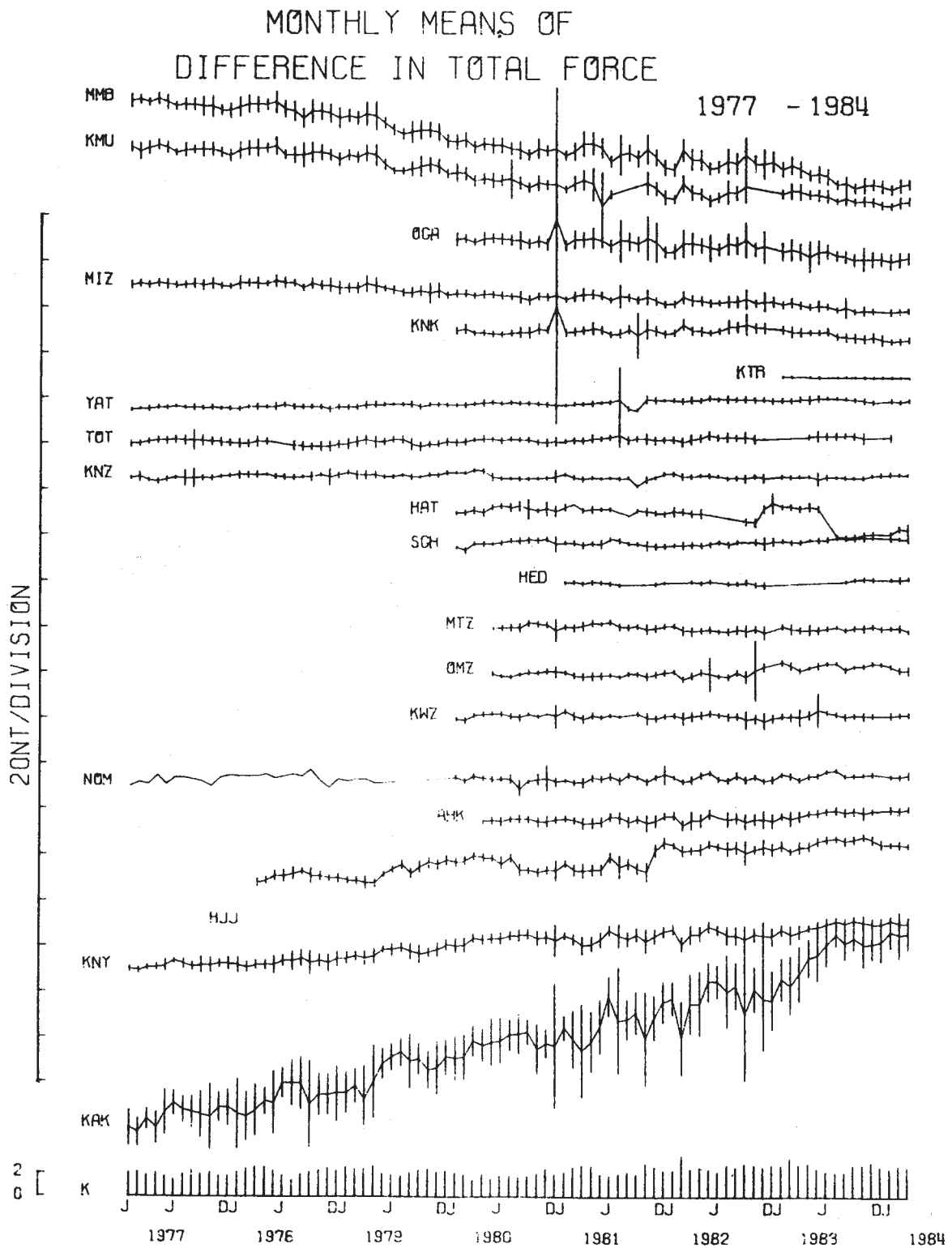
1977年1月から1984年3月までの期間に於ける柿岡を基準とした地磁気永年変化観測点のプロトン磁力計による全磁力夜間値差を整理収録したものである。1984年2月から高山(TAK)のデータが加わり21地点となった。各地点の位置を第1図に示す。さらに、各地点の全磁力差、柿岡の全磁力値、柿岡の該当時間帯のK指数それぞれの月平均値を第2図に示す。スケールは20nT / 1目盛。尚、使用データは、1980年3月以前は00時40分～01時20分の5個、1980年4月以降は00時40分～03時00分までの15個、の10分毎の値である。但し、男鹿、金華山については全期間を通じて5個である。又、同時に上記の値の1984年1月から3月までの日平均値を第3図に示す。スケールは図右端に示すように10nT / 1目盛、K指数は5 / 1目盛である。

前回報告以後1984年1月から3月にかけては、いずれの地点にも異常は認められない。



第1図 観測点の位置

Fig. 1 Distribution of observation stations.

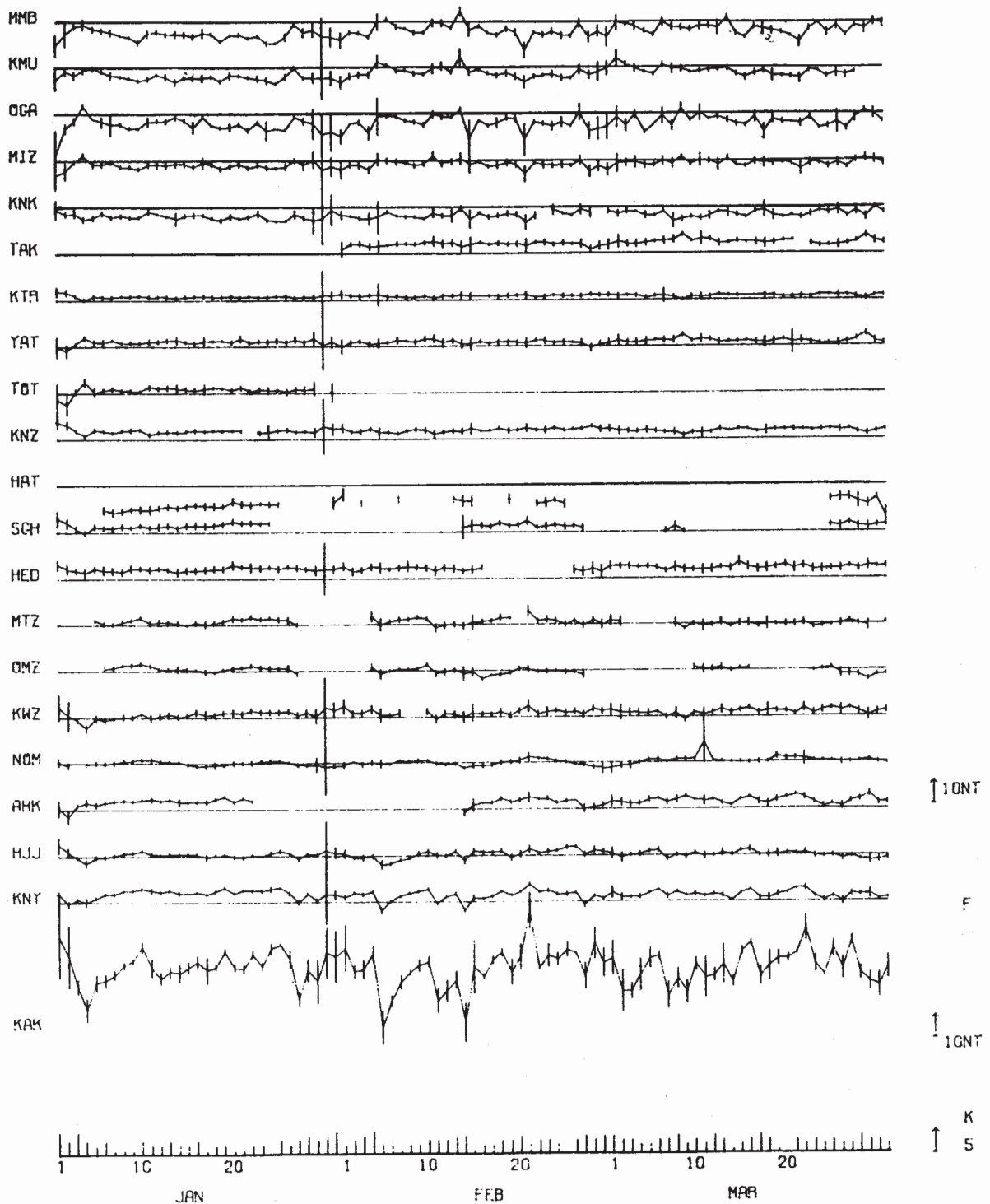


第2図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化（月平均値）
1977年1月～1984年3月

Fig. 2 Month-to-month change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January, 1977 to March, 1984.

DAILY MEANS OF DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

JAN - MAR, 1984.



第3図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化（日平均値）
1984年1月～1984年3月

Fig. 3 Day-to-day change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January, 1984 to March, 1984.